



2期生教育コース通信



第7号（2020. 11月②）

2年生は11月10～12日に修学旅行に行き、震災学習をしたり、ユニバーサルスタジオジャパンで楽しんだり、京都で日本文化に親しんだりしてきました。その翌日ではありましたが、教育コース20名は欠席することもなく下記の日程で講義を受けました。生徒たちは4人ずつのグループを作り、「不登校でも模試の成績がよければ教育を受けている（、保護者は受けさせている）と言えるか、フリースクールに通っていれば教育を受けている（、保護者は受けさせている）と言えるか」について、自分の意見とその根拠を相手に伝え、反論があれば出し合い、また意見を出し合い…と、たいへん活発な討論ができました。特にみんなの前で意見を発表した生徒は、真剣に考えながら先生の問いかけに答えており、その姿がたいへん印象的でした。

大学入学後は、これまでの常識を疑い、答えが一つでないことについて、周りの人たちと相互の考え・知識・経験の違いを共有して新たな認識を得ること、また、自分の立場を論理的に思考する力・説明する力をつけたりすることが重要であると学びました。生徒たちの感想を読むと、『人に自分の意見を伝え、理解してもらうには「筋が通っているか」が大事だとわかった』『今までは自分の意見を押し通すタイプでしたが、今日のグループワークで周りの意見を聞くことの重要さがわかりました』『常識を疑うこと、先入観にとらわれないことが大事だと思った』などと書かれており、今回の講義が心に残った生徒が多くいたようでした。

- ★ 日時・場所 2020年11月13日（金）14：15～16：05 本校
- ★ 内容 出前講義「どうして学校に行くのか？ 一就学義務と教育義務一」
- ★ 講師 愛知県立大学 教育福祉学部・教育発達学科准教授 葛西耕介先生

<活動の様子>

